

みちづくりかわら版  
第88号

H24 地域の夢と希望のみちづくり 平成24年11月28日発行  
12月 京都府道路公社建設事務所

木枯らし号も吹きました  
秋から冬へ季節が変わります

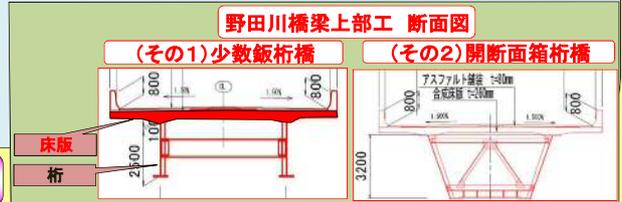
工事状況  
鳥取豊岡宮津自動車道～野田川大宮道路～

現在の施工状況

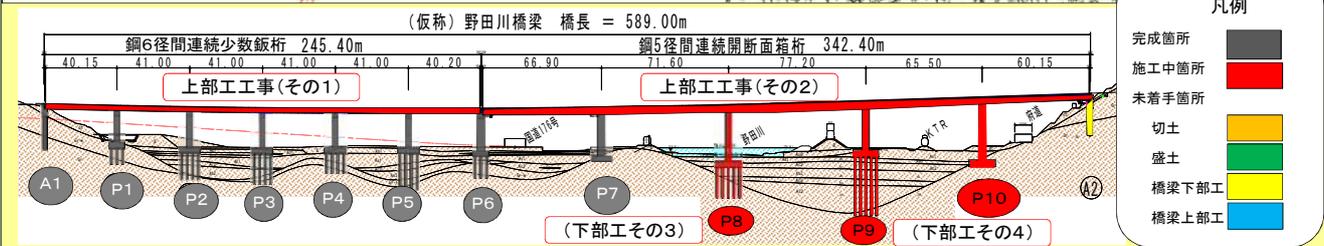
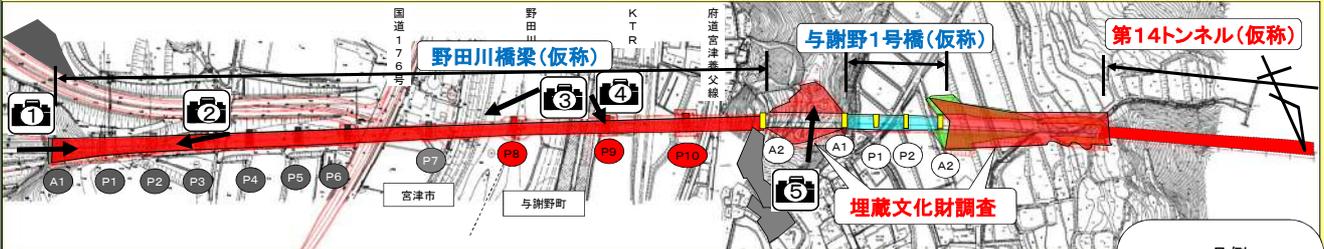
- 野田川橋梁（仮称）の橋台・橋脚等の下部工と橋桁等の上部工工事を進めています。
  - （橋梁下部工その3）（P7.8） P8橋脚の鋼管ソイルセメント杭を打設しています。
  - （橋梁下部工その4）（P9.P10） P9橋脚の鋼管ソイルセメント杭の先行掘削を行っています。
  - （橋梁上部工その1）（A1～P6） 桁架設が完了し、継手部のボルトの本締めを行っています。
  - （橋梁上部工その2）（P6～A2） 鋼開断面箱桁橋の受注者が決定し工場での製作準備に入りました。
- 第14トンネル（仮称）工事  
トンネルの掘削延長は、210メートルです。（11月22日現在）
- 埋蔵文化財調査  
石田城跡の現地調査はまもなく完了。

今後の工事予定

- 野田川橋梁（仮称）の橋台（A2）他工事
- 大宮森本ランプ道路築造（その2）工事



宮津市須津～与謝野町石田工区



野田川橋梁 上部その1

A1橋台からP6橋脚までの桁架設が完了しました。  
架設は、300t吊りの大型クレーンで行いました。  
今後、床版の鋼製型枠を設置します。



P2橋脚とP3橋脚の間はベント（仮設橋脚）を設置しにくい地形のため、落とし込み工法（桁を上から吊り下げて、両脇の桁をミリ単位で調整）で架設しました。



桁の位置は、油圧ジャッキで微調整します。

野田川橋梁 P8橋脚

鋼管ソイルセメント杭（地盤にセメントミルクを注入した柱を造り、鋼管を建て込む工法）の打設を再開しました。



野田川橋梁 P9橋脚

鋼管ソイルセメント杭の打設に先立ちオールケーシング工法による先行掘削を行っています。



埋蔵文化財調査



11月10日（土）に埋蔵文化財センター主催で石田城跡現地説明会を開催しました

裏面もご覧下さい。

# 京丹後市大宮町 三重～森本工区

森本工業団地



坑口から190m地点において、ようやく岩盤が硬くなってきました。ダイナマイト使用量も増加しましたが、岩盤の間に粘土を挟んでおり岩盤の目に沿って崩落することもありますので、注意して施工しています。

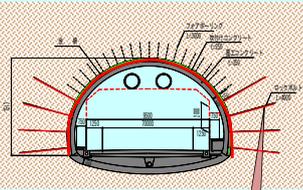


トンネルの掘削を安全かつ円滑に進めていく上で、支保パターンは重要となります。道路公社では4名以上の構成員による地山判定委員会で「切羽観察記録により強度、風化程度、割れ目間隔、割れ目状態、湧水量及び計測記録(沈下内空変異等)」を評価し、支保工パターンを決定します。判定時は安全確保のためのバックプロテクター(衝撃吸収材)を装着します。

切羽：トンネル掘削の最先端部。 支保工：H型鋼、ロックボルト、吹付コンクリートなど地山の崩壊を防ぐ工物



## 第14トンネル 掘削状況



支保工：H型鋼、ロックボルト、吹付コンクリートなど

- トンネル、橋梁工事等 見学会を開催 500名達成**
- 10月25日(木)：京都府北部橋梁維持管理研修 18名
  - 10月29日(月)：京丹後市大宮第2、3小等 21名
  - 11月1日(木)：府北部土木・市町技術職員研修16名
  - 11月10日(土)：石田城跡現地説明会 108名
  - 11月13日(火)：丹後地域高規格道路推進協議会81名等
- トンネルや野田川橋梁の工事現場を見て頂きました。  
11月22日までの見学者数は、657名です。



大宮第2、3小学校の児童と三重、森本地区の皆さんとドングリを拾い、ポットに植え付けをしてもらいました。

◆御理解、御協力ありがとうございました。◆  
**舞鶴若狭自動車道・京都縦貫自動車道・宮津与謝道路の夜間通行止め**

NEXCO西日本関西支社及び京都府道路公社では、お客さまに高速道路を安全で快適にご利用いただけるよう、トンネル設備の点検・清掃、舗装補修工事、道路保全工事等を夜間通行止めにより実施いたしました。



京都縦貫自動車道の坊口トンネルにおいて、消火栓29台を交換しました。